

鹽買受ノ際回送費ノ領收證書又ハ其ノ納入告知書及領收證書ニ鹽ノ等級、包裝、數量及百斤當回送費ノ記入ヲ請求シタル場合ニ限ルヘキコト

二 鹽賣捌規則第十四條第二項ノ有價證券トシテハ同條第一項ノ有價證券ハ勿論其ノ外銀行ノ發行シタル定期預金證書ヲモ認ムル趣旨ニシテ且其ノ定期預金證書ハ政府ノ保護又ハ監視ヲ受クル銀行又ハ之ニ準スヘキ最確實ニシテ信用アル銀行ノ發行シタルモノニ限ル趣旨ナルヲ以テ豫メ其ノ銀行ノ採擇方ニ付票申シ認可ヲ受ケ置クヘキコト

三 定期預金證書ノ形式ハ「貴殿又ハ持參人へ相渡可申云々」ノ意味ヲ記載セシムヘキコト

四 定期預金證書ノ供託受領證ニハ「其ノ預金證書ヲ持參スルニ非サレハ絕對ニ債務ノ履行ヲ爲ササルコト及擔保權者タル官廳ノ取立通知ニ依リ支拂期限前ト雖支拂ヲ爲スヘキコト」ヲ當該銀行ノ承諾書(專賣局宛)ヲ添附提出セシムヘキコト

五 定期預金證書ノ擔保價格ハ其ノ證書ノ記載金額ニ依リ計算スヘキコト

六 定期預金ノ預期間滿了ニ依リ預金ノ手續ヲ爲ス爲其ノ預金證書ノ返付ヲ要スル場合ニ於テハ先ツ相當ノ代リ擔保ヲ提供セシメ其ノ受入ヲ了シタル上解除ヲ爲スヘキコト尙其ノ預金手續ヲ了シタル預金證書ヲ更ニ提供セムトスルモノニ付テハ先ツ之ヲ提供セシメ其ノ受入ヲ了シタル上下戻請求ニ係ル擔保ヲ解除スヘキコト

延納ヲ許可シタル鹽代金及回送費ノ納入ニ付テハ延納期間ノ末日ヲ納入期日ト定メ豫メ其ノ買受者ニ納入告知書ヲ發シ之ニ依リ鹽代金及回送費ヲ納入セシムルコトトシタリ然ルニ之カ納入ヲ怠ルモノニ對シテハ滯納處分ニ依ルノ外何等制裁ヲ加フルコトナカリシヲ以テ故ラニ納入ヲ怠リ其ノ日歩ヲ利セムトスルモノ漸次増加スルノ傾向アルニ鑑ミ其ノ弊ヲ矯メンカ爲明治四十四年三月鹽賣捌規則ヲ改正シ鹽買受者ニシテ其ノ代金及回送費ヲ納付期日迄ニ納付セサルトキハ年五分ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ徵スルコトトシタリ

第三款 特別定價賣渡

鹽專賣法第十九條ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡スコトヲ得ル鹽ハ外國ニ輸出スルモノ及命令ヲ以テ指定シタル用途ニ使用スルモノニシテ明治三十八年五月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ニ於テ之カ用途ヲ左ノ如ク定メタリ

イ 醬油釀造用但シ普通醬油及自家用醬油釀造ニ使用スルモノヲ除ク

ロ 曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用

ハ 肥料用

鹽及鹽藏物ノ輸出入交付金下付ニ關シ稅關事務取扱方抄録

第一條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ鹽務局ヨリ發シタル鹽賣渡通知書ニ照査シ現品ヲ檢査シテ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第三條 特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ輸出ヲ爲シタル者アルトキハ毎月末日第一號書式ニ依リ輸出年月日、輸出數量、輸出先及輸出者ノ氏名ヲ記入シタル輸出通知書ヲ賣渡鹽務局ニ送付スヘシ

第一號書式

| 輸出年月日 | | 輸出數量 | 輸出先地名 | 輸出者 | 住所 | 氏名 |
|----------|-----|------|-------|---------|----|----|
| 明治何年何月何日 | 何何何 | 斤 | | 何縣何郡市町村 | 何 | 某某 |
| 明治何年何月何日 | 何何何 | 斤 | | 何縣何郡市町村 | 何 | 某某 |
| 明治何年何月何日 | 何何何 | 斤 | | 何縣何郡市町村 | 何 | 某某 |

何鹽務局(何出張所)宛

何 稅 關 圖

大藏省訓令第四十一號 (明治三十八年五月九日)

醬油釀造ニ使用スル鹽ノ使用證明ニ關シ稅務署事務取扱方抄録

第一條 醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ使用承認ヲ申請セムトスル者アルトキハ第一號甲書式ニ依リ買受年月日、數量、賣渡鹽務局名及使用ノ年月日、數量場所ヲ記載シタル鹽使用承認申請書ヲ提出セシムヘシ

前項ノ申請アリタル場合ニ於テ稅務署ハ醬油製造檢査簿又ハ鹽務局ヨリ發シタル鹽賣渡通知書等ニ照査シ不都合ナシト認メタルトキハ使用ノ承認ヲ與ヘ其ノ使用ニ付相當ノ監視ヲ施シ使用ノ事實ヲ確認スヘシ

第二條 前條ノ醬油釀造者鹽使用濟證明書ノ交付ヲ申請セムトスルトキハ第一號甲書式ノ申請書ヲ提出セシメ同號乙書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

第三條 醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者其ノ未使用鹽ニ付承認ヲ申請スルトキハ第二號甲書式ニ依リ買受年月日數量賣渡鹽務局名及使用ノ年月日數量場所未使用鹽ノ數量及事由ヲ記載シタル未使用鹽承認申請書ヲ提出セシメ鹽務局ヨリ發シタル鹽賣渡通知書及鹽使用濟證明申請書ニ照查シ其ノ未使用鹽證明書ヲ交付スヘシ

第四條 第一條ノ證明ヲ受ケタル者ノ溜醬油ヲ査定シタルトキハ其ノ査定ト同時ニ殘存味噌ノ數量ヲ査定シ第三號書式ニ依リ醬油及味噌ノ査定數量査定年月日ヲ記入シタル査定通知書ヲ賣渡鹽務局ニ送付スヘシ殘存味噌ナキトキハ査定通知書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第一號書式 (輪廓乙甲縱六寸横四寸五分)

(甲)

| | |
|---------------------|--|
| 鹽使用承認申請書(鹽使用濟證明申請書) | |
| 申請人 住所氏名 | 醬油製造人 何府縣何郡市何町村何番地 何 某 |
| 申請事項 | 鹽買受年月日及數量 明治何年何月何日何斤 賣渡鹽務局名 何 鹽務局 鹽使用年月日及數量 明治何年 自何月何日 何斤 鹽使用場所 明治何年何月何日何斤 何郡市何町村何番地 |
| 申請年月日請 | 明治何年何月何日 |
| 署長 | 調査證明年月日 明治何年何月何日 |

(乙)

| | |
|-------------|--|
| 鹽使用濟證明書 | |
| 申請人 住所氏名 | 醬油製造人 何府縣何郡市何町村何番地 何 某 |
| 申請事項 | 鹽買受年月日及數量 明治何年何月何日何斤 賣渡鹽務局名 何 鹽務局 鹽使用年月日及數量 明治何年 自何月何日 何斤 鹽使用場所 明治何年何月何日何斤 何郡市何町村何番地 |
| 申請年月日請 | 明治何年何月何日 |
| 右證明ス | 何稅務署 團 |
| 明治何年何月何日 | |

第二號書式 (輪廓^甲縦六寸横四寸五分)

(甲) 未使用鹽承認申請書

| | |
|---------|--|
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 某 [㊦] |
| 申請事項 | 鹽買受年月日及數量 賣渡鹽務局名 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所 未使用鹽數量 同事由 |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 |
| 署長 | 明治何年何月何日 |
| 調査 | 明治何年何月何日 |
| 證明 | 明治何年何月何日 |

(乙)

| | |
|---------|--|
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 某 |
| 申請事項 | 鹽買受年月日及數量 賣渡鹽務局名 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所 未使用鹽數量 同事由 |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 |
| 右證明ス | 明治何年何月何日 |
| 何稅務署團 | |

第三號書式 (輪廓^乙縦六寸横四寸五分)

溜醬油查定通知書

| | |
|-----------|---------------------|
| 醬油製造人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 某 |
| 查定事項 | 生引溜查定數量 味噌查定數量 |
| 查定年月日 | 明治何年何月何日 |
| 右通知候也 | |
| 備考 | 何稅務署團 |

查定事項ニハ生引溜、素引溜、ニラ溜ノ查定高ヲ區分記入スヘシ

尙同時ニ稅關及稅務署ニ於テハ事務取扱上豫メ特別定價ノ賣渡アリタルコトヲ知ルノ要アルヲ

以テ鹽務局ヲシテ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲シタルトキハ外國ニ輸出スルモノニ在リテハ輸出港稅關ニ醬油釀造用ニ使用スルモノニ在リテハ使用地所轄稅務署ニ其ノ賣渡ノ都度通知セシメ又鹽ノ用途變更ヲ許可シ又ハ輸出港輸出先使用場所等ノ變更申告アリタルトキニモ夫々之カ通知ヲ爲サシメタリシカ尋テ又鮭、鱒、鱈、鯨、鰻、鰯獸鹽藏用ノ賣渡ニ付テモ鹽藏地所轄鹽務局ヘ通知スルコトヲ追加シタリ

特別定價鹽ノ賣渡ニ付テハ賣渡請求者ノ申述ニ依リ鹽務局ニ於テ其ノ備付ノ用紙ヲ以テ之カ賣渡請求書ヲ作成スルコト第一款ニ記述スルカ如ク其ノ他鹽ノ用途變更鹽使用濟證明ノ申請又ハ輸出港輸出先使用場所等ノ變更申告ニ付テモ總テ其ノ申述ニ依リ鹽務局ニ於テ作成スルコトトシ以テ取扱上ノ敏捷ヲ期シ官民ノ便宜ヲ圖リタリ

肥料製造用ニ供スル鹽ハ特別定價ヲ以テ賣渡差支ナキヤノ撫養鹽務局長ノ照會ニ對シ明治三十八年七月差支ナキ旨回示シタリ

特別定價ヲ以テ賣渡ス輸出鹽醬油釀造用鹽及鮭、鱒、鱈、鯨、鰻、鰯獸鹽藏用鹽ニ付テハ其ノ賣渡請求者ノ資格ヲ限定シアルヲ以テ賣渡請求アリタルトキハ其ノ資格ヲ確ムルノ必要ヲ認メ差當リ醬油釀造業者ノ如キハ稅務署ニ於テ之カ資格ヲ證明シ得ルノ便アルヲ以テ左記ノ通牒ヲ爲シタリ

大藏省主稅局長依命通牒第三二九六號 (明治三十八年八月十二日)

△ 稅務監督局長

醬油釀造用鹽賣渡請求者ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第二條ニ依リ該釀造者ニ限ラレ居候ニ付テハ鹽務局ニ於テ賣渡ノ際其ノ資格ヲ調査スルノ必要有之候ニ付自今醬油釀造者ニシテ其ノ資格證明方ヲ申請シタル場合ニハ所轄稅務署ニ於テ該證明ヲ與ヘラルヘク依命此段及通牒候也

鰻、鱒、豚肉鹽藏用鹽ニ對シ特別定價賣渡ノ特典ヲ與ヘラレタキ旨請願アリ鰻、鱒等ハ本邦魚漁事業中最重要ナルモノニシテ從來其ノ漁獲高ノ大部ハ鹽藏シテ食料ニ供セラレタリ然ルニ專賣後鹽價騰貴シタル爲漁業者ハ此等鹽藏用鹽ノ買入ニ苦ムモノ多ク延テ水產業ノ發達ヲ阻止スル

第一條第二號中「曹達」ノ上ニ「鹽酸」ヲ第三號中「肥料」ノ下ニ「選種」ヲ加フ

第五條第一項中「溜醬油釀造又ハ」ヲ削ル

第十二條第三項中金十一錢五厘ヲ金十七錢ニ改ム

乾蝦製造用鹽ニ對シ特別定價賣渡ノ特典ヲ與ヘラレタキ旨ヲ以テ明治三十八年十月山口縣漁業者ヨリ大藏大臣ニ請願シタリ其ノ要旨ハ目下清國貿易品トシテ山口縣重要物産ノ一ニ數ヘラルル乾蝦ノ價格ニ至大ノ關係ヲ有スル色澤ハ生蝦煮烹ノ際食鹽ノ加味ニ依リテ生シ而モ一定ノ混和量アリテ濫ニ之カ増減ヲ許ササルモノトス然ルニ專賣施行後鹽價ノ騰貴ニ因リ斯業者ハ收支相償ハサル爲罷業セサルヘカラサルノ悲境ニ陥リタルヲ以テ之カ保護上特別定價賣渡ノ特典ヲ與ヘラレタシト云フニ在リ然ルニ乾蝦ノ如キハ輸出品トシテ有望ナルモノニアラス從テ之ヲ獎勵スルノ必要ヲ認メサルノミナラス其ノ使用鹽ハ鮭、鱒等ノ鹽藏用ト異リ必シモ製造原資ニアラサルヲ以テ恩典ヲ與フルノ必要ナキモノトシ請願ヲ採用セサルコトトシタリ

鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉、石鹼製造用、肥料、選種用、獸皮保存用、鑛業用等ノ農工業用ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ請求スル者ニシテ其ノ使用地ニ於テ變性ヲ受ケムコトヲ希望スル場合ニ於テハ常ニ多量ノ使用ヲ爲シ之カ回送ニ封印其ノ他相當取締ヲ爲シ得ヘキモノハ便宜使用場所ニ於テ變性ヲ施シ差支ナキコトトシ若シ他管内ニ於テ使用スルモノナルトキハ豫メ關係鹽務局間ニ於テ打合せノ上取締上支障ナカラシメ成ルヘク當業者ニ便宜ヲ與フヘキ旨通牒シタリ

選種用鹽ハ使用者自ラ鹽務局又ハ其ノ出張所ニ就キ賣渡ヲ受クル規定ナルヲ以テ此等販賣官署ニ接近セサル農家ニ於テハ運搬費ノ増嵩ニ依リ特典ヲ受クル減價ト相殺セラルコトトナリ結局却テ從來ノ如ク普通商人ヨリ買受クルヲ便トスルノ狀況ナルヲ以テ選種用鹽ノ如キ變性ヲ施シ取締ノ見込立ツモノニ在リテハ之カ取扱ヲ商人ニ許サレタキ旨ヲ以テ明治三十八年十一月新

澗市鹽販賣業者ヨリ請願シタリ右ハ獨リ選種用鹽ニ限ラス變性ヲ施シ賣渡ス鹽即チ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用セラレル鹽ハ何人ニモ賣渡ス精神ナルヲ以テ右用途ニ使用スル第三者ニ販賣スル爲ニモ特別定價ヲ以テ賣渡ヲ請求シ得ルモノナルニ依リ誤解ナカラシムル爲メ明治三十八年十二月各鹽務局長ニ通牒シタリ

素麵製造用鹽ニ特別定價賣渡ノ特典ヲ與ヘラレタキ旨兵庫縣下素麵製造業組合ヨリ兵庫縣知事ニ請願シタル趣ヲ以テ之カ願意採用方明治三十八年十一月同縣知事ヨリ稟申アリタリ而シテ其ノ請願ノ要旨ハ素麵ハ縣下重要物産ニシテ近年外國輸出ノ増加ニ伴ヒ大ニ其ノ製産ニ勉メツツアルトキニ際シ製造ノ原料タル鹽價ハ專賣實施後三倍以上ニ達シ從テ製品ノ價格ヲ高メ購買力ヲ減殺シ延テ其ノ製産力ヲ沮喪セシムルニ至ルヘキヲ以テ該原料鹽ヲ特別定價鹽中ニ加ヘラレタシト云フニ在ルモ素麵ハ本邦ノ特産品ニシテ外國市場ニ於テハ一ノ競争者アルニアラス且又其ノ用鹽量ハ極メテ少額ナルヲ以テ製品ノ價格ニ格別ノ影響ヲ及ホストモ認メサルニ付之ヲ採用セサルコトトシタリ

製鋼用トシテ使用スル鹽ハ特別定價ニテ賣渡可然哉三田尻鹽務局長ノ照會ニ對シ明治三十九年一月特別定價ニテ賣渡スヘキモノニ非サル旨回示シタリ

遠洋漁業者カ臘豚獸ヲ漁獲シ其ノ皮ノミヲ鹽藏スル爲ニ使用スル鹽ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規第一條ノ獸皮保存用及臘豚獸鹽藏用ノ内何レヲ適用スヘキヤ仙臺鹽務局長ノ照會ニ對シ明治三十九年二月臘豚獸鹽藏用トシ取扱フヘキ旨回示シタリ

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ依リ醬油釀造用鹽ニ特典ヲ與フルコトハ專賣施行後ノ實況ニ徴スルニ之カ執行ノ手續上十分ナル監督ヲ加フルトキハ官民共ニ其ノ繁ニ堪ヘサル所ナルヲ以テ寧口之ヲ廢シ普通消費鹽ノ如ク一般定價ニテ之ヲ賣下クルト同時ニ醬油稅率ヲ輕減ス

ルコトノ利便ナルヲ認メ明治三十九年三月醬油稅則ヲ改正スルト同時ニ勅令ノ特別用途中醬油釀造用鹽ヲ削除シ又新領土樺太ノ開發上專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ニ對シテモ特別定價賣渡ノ特典ヲ與フルノ要アルヲ認メ明治三十九年三月鹽專賣法ヲ改正シ尙之カ賣渡ニ關スル規定ヲ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中ニ追加シ何レモ同年四月一日ヨリ施行スルコトトシタリ

勅令第三十六號 (明治三十九年三月二十九日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則抄錄

第一條第一號削除

第二十八條 鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ノ特別定價賣渡及交付金下付ニ付テハ本令中外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第十一條第二項第二十條及第二十一條第二項準用ノ場合ニ於テ稅關ノ事務ハ移出地所轄鹽務局之ヲ行フ

「アルカリ」工業原料ニ使用スル臺灣鹽ハ之ヲ普通ノ特別定價ニテ賣下ケ且臺灣鹽移入取扱人ヲシテ相當手數料ヲ得セシムルトキハ其ノ價格高キニ過キ爲ニ其ノ製造品ハ外國輸入品ニ壓倒セラレ到底業務繼續ノ見込ナシトシ當業者ヨリ特別取扱方ニ關シ從來度々請願スル所アリ且政府ニ於テモ夫々調査ノ結果該工業保護ノ必要ヲ認メタルヲ以テ明治三十八年十一月以來特ニ其ノ專賣益金ヨリ百斤當十錢ヲ低減シタルモ同三十九年四月後尙進ンテ十三錢ヲ低減シテ賣下クルト同時ニ移入取扱人ニ對シテハ「アルカリ」工業者ヨリ原料鹽ノ賣渡要求アリタルトキハ他ノ要求者ニ先チテ賣渡ヲ爲シ公平ニ分配スヘク且其ノ價格ハ何等手數料ヲ加算スルコトナク全ク原價ヲ以テ販賣スヘキコトヲ命シ又工業者ニ對シテハ其ノ原料鹽使用上ノ監督又ハ其ノ製品販賣ニ關シ相當制限ヲ加ヘ不當ノ利益ヲ得セシメサルト同時ニ其ノ製品ヲ使用スル他ノ工業者ヲ保護ス

ル爲請求ニ依リテ「アルカリ」工業者ヲ指定シ左記ノ如キ條件ニ付シタル原料鹽賣下命令書ヲ交付シタル者ニ限り右特別定價鹽ノ賣渡ヲ受ケ得ルコトトシタリ

一 特別低價ニテ買受ケタル鹽ヲ以テ製造シタル物品ヲ不當ノ價格ヲ以テ販賣スト認メタルトキハ其ノ販賣價格ヲ制限スルコト

二 特別低價ニテ買受ケタル鹽ヲ其ノ目的トスル製造品ノ原料ニ使用スルノ外他ノ用途ニ之ヲ消費シ又ハ之ヲ讓渡スルヲ得サルコト

三 特別低價ニテ買受ケタル鹽及其ノ製造品ノ受拂數量價格賣渡先賣渡年月日等ヲ一定帳簿ニ記載シ當該官吏ノ臨檢アルトキハ直ニ之ヲ開示スルコト

鯿、鯖、鰯、牛豚肉鹽藏用鹽ニ對シ特別定價賣渡ノ恩典ヲ與フルコトノ請願ニ付テハ之ヲ採用セサリシカ豊橋商業會議所ハ再ヒ該請願ヲ衆議院ニ提出シタルニ衆議院ハ之ヲ採擇スヘキモノト決議シ政府ニ送付シ來リタルモ明治三十九年五月閣議ヲ經前記ノ趣旨ヲ以テ再ヒ其ノ請願ヲ容レサルコトニ決シタリ

農工業用鹽ニ付テハ其ノ賣渡請求者ノ希望ニ依リ使用地ニ於テ變性スルコトニ取扱ヒ可成便宜ヲ與フル様囊ニ通牒シタルモ實際肥料及選種等農業用鹽ハ全國到ル處ニ使用セララルモノニシテ其ノ變性ハ鹽務官署所在地外ニ於テハ實行シ難キ事情アルヲ以テ各局一樣ノ取扱ヲ爲サシムル爲明治三十九年五月賣渡地ニ於テ變性ヲ施行セシムルコトトシ通牒シタリ

尙肥料及選種用鹽ノ賣渡方ニ付テハ農家ニ於テ未タ知悉セサルノ狀況ナルヲ以テ之カ周知方ニ關シ農商務省農務局長ニ左記照會ヲ爲シタリ

大藏省主稅局長照會臨第二二四號 (明治三十九年五月十八日)

選種用又ハ肥料用ノ爲鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ニ對シテハ鹽務局ヲシテ成ルヘク便宜ヲ圖ラシムヘク候間爾今右購入方ニ關シテハ各農會又ハ市町村等ノ團體ニ於テ共同シテ豫メ申込有之候ハ、相互ノ便宜ト被存候尤モ其ノ賣渡變性方等ニ付テハ事實鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ以テ規定相成居

特ニ申上候迄モ無之候得共地方農民等ニ在リテハ從來往々誤解致居候向モ有之候哉ニ聞及且之等賣渡請求者ニ對スル注意トシテ爲念一應左記諸項ニ關シテ一般ニ周知方可然御取計相成度

一 選擇用鹽肥料用鹽ハ特別定價ヲ以テ賣渡スモ交付金ヲ下付セサルコト

一 右ノ用途ニ使用セラレル鹽ニハ賣渡ノ際買受人ノ費用ヲ以テ變性ヲ施スヘク從テ賣渡請求者ニ於テ豫メ之カ變性用混和物ニ差支サル様注意スルコト

一 鹽務局ニテハ賣渡請求者所在地マテ鹽ノ送付ヲ爲ササルヲ以テ買受希望者ハ鹽務局又ハ其ノ出張所マテ出向スルカ又ハ其ノ局所在地ノ商人等ニ其ノ買受並送付方ヲ依託スルヲ要ス又鹽務局所聞ニ於テモ鹽ノ回送ヲ爲ササルヲ以テ甲局所ニ就キ乙局所管内產鹽ノ賣渡ヲ受クルヲ得サルコト

一 鹽代金ハ買受ノ際納付スルヲ要スレトモ若シ擔保トシテ金銀又ハ有價證券等ヲ提供スレハ三箇月以内ノ延納ヲ許サルヘキコト

一 賣渡請求者ハ豫メ賣渡ヲ受ケムトスル鹽ノ等級、數量ヲ鹽務局所ニ請求シ置カハ便宜ナルヘク尤モ選擇用又ハ肥料用トシテハ五等鹽又ハ其ノ以下ノ粗惡鹽ニテモ可ナルヘク且價格モ低廉ナルヲ以テ却テ此等粗惡鹽ヲ使用スル方便宜ナルヘシ但シ五等以下ノ粗惡鹽ハ鹽務局所ニ收納セサルモノ多キヲ以テ鹽業者ヨリ購入方相當盡力セシムヘキコト

一 昨年ハ天候不良ニシテ豫定ノ產額ヲ得ラレザリシカ爲往々在庫鹽缺乏ヲ告ケ善ク賣渡請求ニ應スルコト能ハサリシモ本年ハ成ルヘク便宜ヲ圖ラシムヘキコト

一 選擇用トシテハ苦汁ハ適當ノモノト認ム尤モ右ハ鹽務局ニ於テ直接賣渡ヲ爲ササルモ特ニ希望者ニ對シテハ鹽務局所ニ於テ相當盡力セシムヘキコト

此段及照會候也

乾蝦製造用鹽特別減價賣渡ニ關シ明治三十九年七月山口縣水產組合ヨリ再ヒ大藏大臣ニ請願シタルモ前回同様之ヲ採用セサルコトトセリ

福井縣敦賀町石灰製造業者ヨリ石灰ハ該地方ニ於ケル重要物産ニシテ專賣法實施以來鹽價ノ騰貴ハ延テ石灰生產費一俵ニ付三厘ノ増加ヲ見ルニ至リ元來本品ハ極メテ薄利ノモノニシテ此ノ上賣價ヲ高ムルコトハ到底不可能ナルカ故ニ結局製造者ノ負擔ニ歸シ斯業ノ盛衰ニ關スルヲ以テ石灰製造用鹽ヲ特別定價鹽中ニ加ヘラレタキ旨福井縣知事ニ請願シタル趣ヲ以テ明治三十九年十月同縣知事ヨリ之カ詮議方稟申アリタルモ右石灰ハ海外輸出品ナルニアラス將又内地ニ於テ輸入競争品アルニアラス而シテ一俵ニ付僅ニ三厘ノ増加ハ斯業ニ格別ノ影響ヲ及ホストモ認メ難ク且又此ノ種ノ製產品ニ對シテ特典ヲ與フルコトトセハ際限ナク結局鹽專賣ノ目的ヲ達シ得サルニ付其ノ請願ヲ容レサルコトトシタリ

選種用鹽ノ變性ニ關シ明治三十九年十月東北一道六縣農會聯合會ハ其ノ決議ニ據リ大藏大臣ニ
 建議スル所アリ其ノ要旨ハ選種用ノ爲特別定價ヲ以テ賣渡サルル鹽ノ變性混和物ハ選種作業上
 種々ノ障礙アリテ折角與ヘラレタル特典ニ浴スルコトヲ得サル嫌アルニ依リ道府縣農會ノ事業
 トシテ共同購入セムトスル選種用鹽ハ使用ノ際當局吏員ノ臨檢ヲ得ルコトトシ別ニ變性ヲ施サ
 スシテ特別定價賣渡ヲ受ケタシト云フニ在リ尋テ同年十二月第十四回全國農事會總會亦其決議
 ヲ以テ變性ニ使用スル混和物ノ量多キニ失シ爲ニ選種作業上少カラサル手數ヲ要シ甚シキハ全
 ク選種ノ目的ヲ達スルコト能ハサル場合少カラサルヲ以テ右混和物ノ分量ヲ低減セラレムコト
 ヲ大藏大臣ニ建議シタリ右建議中變性ヲ施サスシテ特別定價賣渡ヲ爲スコトハ取締上並經費上
 詮議ノ限リニ無之モノナルモ變性方法ニ關シテハ尙篤ト調査研究ヲ爲スコトトシタリ
 家畜用鹽ハ從來一般定價ヲ以テ賣渡シタリシカ明治三十九年二月全國畜牛家同志ハ家畜用鹽ニ
 特別定價賣渡ノ特典ヲ與ヘラレタキ旨大藏大臣並衆議院ニ請願シタリ而シテ其ノ請願ノ要旨ハ
 家畜ハ其ノ飼養上最多ク鹽類ヲ要求スルモノナルニ拘ラス鹽專賣特別定價賣渡ノ特典ニ漏レ鹽
 價騰貴ノ結果畜主ニ恐慌ヲ與ヘ家畜ノ營養ヲ損シ其ノ發達ヲ阻害スルコト大ナルヲ以テ速ニ其
 ノ缺點ヲ補ハレタシト云フニ在リテ衆議院ハ參考トシテ政府ニ轉送スヘキモノト議決シ同年三
 月之ヲ政府ニ送付シ來リタリ越テ明治四十年三月關西畜牛家大會ハ其ノ決議ニ據リ前記同一ノ
 理由ヲ以テ內閣總理大臣大藏大臣並衆議院ニ請願シタリシカ衆議院ニ於テハ之ヲ採擇スヘキモ
 ノト議決シ同年三月政府ニ送付シ來リタリ是ヨリ先政府ニ在リテモ家畜保護上其ノ飼養用鹽ニ
 特別定價賣渡ノ特典ヲ與フルコトノ必要ナルヲ認メ之カ調査研究ヲ重ネ遂ニ同年四月特別用途
 中ニ家畜用ヲ加ヘ且同時ニ特別定價ヲ以テ輸出鹽ノ賣渡ヲ請求スル者ニ對シテハ從來差額擔保
 ヲ徴セサリシモ既往ニ鑑ミ他日ノ追徴ヲ確保セシムル爲之ヲ提供セシムルコトトシ專賣鹽特別

定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ同月十日ヨリ之ヲ施行シタリ

勅令第百九號 (明治四十年四月一日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則(抄録)

第一條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 肥料、選種、家畜用

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

外國ニ輸出シ又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ賣渡請求者ヲシテ百斤ニ付金

一圓三十錢ノ割合ニ依リ擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

大藏省主稅局長通牒往第七〇七六號 (明治四十年五月二日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第五條改正ノ結果外國輸出鹽ニモ擔保ヲ提供セシムルヲ得ルコトト相成候處右ニ付テハ總テ擔保ヲ提供セシムル儀ト御了知相成度爲念此段及通牒候也

「アルカリ」工業原料鹽ノ供給ヲ潤澤ナラシムル爲臺灣鹽ノ外更ニ關東州鹽ヲ臺灣鹽ト同一條件ニテ輸入セシムルコトトシ又工業者ニ對スル賣下命令ニ付テモ臺灣鹽ニ準據セシメ之カ命令ハ鹽

務局長限リ取扱ハシムルコトトシタリ

「アルカリ」工業者ニ對スル原料鹽賣下命令ハ元來法令ニ規定シタルモノニアラスシテ實ハ一種ノ契約ニ過キスサレハ之ヲ公表周知セシムルノ方法ヲ採ラサリシヲ以テ「アルカリ」工業者中之ヲ知ラサルカ爲特別低價賣下ノ特典ヲ受ケサル者ナキニ非ス斯ノ如キハ未タ以テ公平ノ處置ト謂フヲ得サルニ依リ若シ將來トモ之ヲ續行セムトセハ之ヲ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中ニ規定スルヲ以テ相當ト認ムヘキモ又一方ヨリ之ヲ觀ルニ右命令中「アルカリ」製品ノ不當販賣價格ヲ制限スルコト其ノ他鹽及「アルカリ」製品ノ出納ヲ記帳シ且當該官吏ノ監督ヲ受ケシムルコト等ノ如キ條件ハ實行スルコト至難ナルノミナラス其ノ他ノ條件ニ在リテモ既ニ現在ニ必要ナキ

モノアルヲ以テ明治四十一年四月ヨリ之ヲ廢止スルコトトシタリ
 明治四十一年七月後鹽販賣制度ヲ改正シ政府ハ其ノ指定シタル元賣捌人ニ五分引價格ヲ以テ賣
 渡スコトヲ原則トシタルモ場合ニ依リテハ直接消費者又ハ小賣人ニ賣渡スノ必要アルコトヲ認
 メ專賣法改正ノ際輸移出其ノ他特別用途鹽ノ外特ニ命令ヲ以テ定メタル場合ニ該當シタルトキ
 ハ特ニ定メタル價格ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲シ得ルコトトシ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則
 中之カ賣渡ヲ爲シ得ル場合ヲ左記ノ如ク規定シタリ尤モ特別用途鹽ノ如キ低價賣渡ノ恩典ヲ與
 ヘサルハ勿論ノコトナリトス

勅令第五百二十二號 (明治四十一年六月十五日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則(抄錄)

第一條ノ二 鹽專賣法第十九條第一項第三號ニ依リ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スハ左ノ場

合ニ限ル

- 一 鹽賣捌人ニ非サル者一回一萬斤以上鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ
 - 二 鹽元賣捌人カ大藏大臣ノ定ムル制限價格以內ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササルトキ
- 然リト雖輸移入鹽ノ賣渡ニ付テハ「アルカリ」工業用鹽ヲ除クノ外從來ノ如ク其ノ輸移入ノ都度全
 部之ヲ特別元賣捌人ニ賣下クルノ方針ヲ採リ非賣捌人ニ對シテハ一回一萬斤以上ノ賣渡請求ア
 ル場合ト雖之ヲ賣下ケサルコトトシ左記ノ關係收納所長ニ通牒ヲ爲シタリ

專賣局販賣部長依命通牒丁第三三五三號 (明治四十一年六月二十四日)

輸入鹽及移入鹽ノ賣下ニ付テハ鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用鹽ヲ除クノ外其ノ輸移入ノ都度全部之ヲ特定シタル元賣捌人ニ賣下クルノ方針ニ有之候從
 テ鹽賣捌人ニ非サル者ヨリ一回一萬斤以上ノ賣渡請求アル場合ト雖之ヲ賣下ケサル義ト御承相成度

追テ鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用鹽ハ成ルヘク其ノ消費者ニ直接賣渡ヲ爲スノ方針ニ有之候ヘトモ若シ特ニ指定シタル鹽元賣捌人ヨリモ之ヲ請求シ
 タル場合ニ於テ之ヲ賣下クルハ固ヨリ妨ナク尤モ其ノ價格ハ鹽賣渡價格告示ノ通り直接賣下場合ト同シト御承知可有之

鹽賣捌人ニ非サル者一回一萬斤以上ヲ以テ直接鹽ノ賣渡ヲ爲スハ其ノ買受者カ必スシモ一人ナルヲ要セサルコトトシ販賣官署ヲシテ左記ノ通牒ニ依リ取扱ハシメタリ

專賣局販賣部長通牒丁第四四五號 (明治四十一年八月十七日)

鹽賣捌人ニ非サル者一回一萬斤以上ヲ以テ直接鹽ノ賣渡ヲ爲スハ其ノ買受者カ必シモ一人ナルコトヲ要セス數人組合ヲ以テ一回一萬斤以上賣渡請求ヲ爲ス場合ト雖モ其ノ請求ニ應スヘキ趣旨ニ有之候間右ニ御取扱可相成 依命

追テ賣渡代金ハ人別ニ計算セサルハ勿論ニ有之候尙其ノ賣渡請求書ニハ何某外何名總代何某ト記載捺印シ摘要欄ニ人別ノ買受數量ヲ内譯記載セシムルヲ要シ候

鯨鱈(あめます)ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ所謂鱈ニ包含スルモノナルヤ金澤收納所長照會ニ對シ明治四十一年十一月包含セサルコトニ回示シタリ

非賣捌人ニ對スル鹽一回一萬斤以上賣渡又ハ特別定價鹽賣渡ハ之ヲ販賣官署區域外ノ者ニ爲スモ差支ナキヤ熊本販賣所長照會ニ對シ明治四十二年二月差支ナキ旨回示シタリ

鯨ハ俚俗^{すけ}と^うたら^らト稱スルモ其ノ性状效用ニ於テ鱈ト差違アリ而モ其ノ形甚タ小ニシテ僅僅數寸ヲ出テサルモノアリ右ハ特別定價賣渡及交付金下付規則ノ所謂鱈ニ包含スヘキモノナルヤ函館收納所長照會ニ對シ明治四十二年三月鱈ニ包含スヘキ旨回示シタリ

銅礦ヲ製鍊スル爲之ヲ金屬製ノ熔鑛爐ニ容レ溶解スルニ當リ爐内ニ送風口ヲ裝置シ隨時開閉シテ風力ヲ調和セリ其ノ送風口ヲ閉鎖スル場合鹽ヲ粘土ニ混和シ目塗リヲ爲セルアリ之レ亦鑛業用トシ特別定價ニテ賣渡シ得ヘキ旨明治四十二年七月水戸支局長ニ回示シタリ

石灰製造ニ使用スル鹽ハ肥料製造用鹽トシ肥料用鹽ト同シク特別定價ヲ以テ賣渡シ得ヘキヤ金澤支局長照會ニ對シ明治四十二年十二月肥料製造用鹽ヲ特別定價ニテ賣渡スニハ其ノ製品カ肥料ニノミ供シ他ノ用途ニ供シ得サルモノニ限ル從テ石灰製造用鹽ノ如キハ特別定價賣渡ヲ許ササルコトニ局議決定シタル旨回示シタリ

盛岡市所在騎兵第二十三聯隊ヨリ覆馬場内ノ運動ハ塵埃ノ飛散甚シク之カ結膜炎鼻加答兒喉頭

加答兒等ノ原因トナルハ從來屢々實驗スル所ニシテ是ヲ豫防センニハ勢ヒ時々水ヲ散布シ塵埃ノ飛散ヲ防カサル可ラス然レトモ冬季極寒ニ際シテハ忽チ凍結シテ蹄跡凹凸不平硬固トナリ滑走スルノミナラス蹄ニ不整ノ反動ヲ與ヘ爲メニ變形蹄ノ原因トナリ尙蹠蹄馬ノ運動ニハ全然不可能ナリ故ニ前記諸害ヲ除去セント欲セハ既設各乘馬隊ニ於テ實施シツツアル如ク鋸屑ニ鹽ヲ混合シ之ヲ砂利上ニ布敷スルトキハ塵埃ノ飛散尠ク又假令水ヲ散布スルモ鹽ノ爲メニ凍結スルコトナク且鹽ハ消毒ノ力大ナルヲ以テ四肢下端ノ創傷保護上必要ニシテ所謂一舉兩得ノ好材料ナリトノ趣旨ニテ特別定價賣渡ノ交渉アリ家畜用鹽トシテ賣渡シ得ヘキヤ仙臺支局長ヨリノ照會ニ對シ明治四十三年一月特別定價ヲ以テ賣渡スヘキモノニアラサル旨回示シタリ

明治四十三年一月露領水産組合ヨリ同組合員カ使用スル漁業用鹽ニ對シ特別ノ取扱ヲ受ケタキ旨ヲ以テ特別定價賣渡ノ擔保ニ關シテハ漁業資金ノ融通ニ便ナラシムル爲特別定價ト一般定價トノ差額即チ百斤當一圓三十錢ノ擔保ヲ八十斤以一箇ニ付二十錢ニ低減セラレタシト要求セルモ之ヲ輕減スルハ他日ノ追徴ヲ確保セシムルノ根本主義ニ悖リ之カ爲國庫ノ收入ヲ不確實ナラシムルノ危險アルヲ以テ之ヲ聽許セサルコトトセリ

素麵製造用鹽ニ對シ特別定價賣渡ノ恩典ヲ與フルコトノ請願ニ付テハ曩ニ記述シタルカ如ク兵庫縣下素麵製造業組合ヨリ請願アリタル際之ヲ採用セサリシカ明治四十三年十一月再ヒ第十五回西南實業大會ヨリ麵類製造用鹽ニ恩典ヲ附與セラレタキ旨大藏大臣ニ建議アリタルモ前回ト同一ノ理由ニ依リ之ヲ採用セサルコトトシタリ

特別定價ヲ以テ鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉、石鹼製造用肥料、選種家畜用、獸皮保存用、礦業用ニ供スル鹽ノ賣渡ヲ受ムトスル者ハ其ノ賣渡請求書ニ鹽ノ使用場所ヲ記載スルコトヲ要スルモ鹽元賣捌人ニ於テ之カ賣渡ヲ請求スル場合ニ在リテハ其ノ鹽ノ使用場所不明ノ場合モアルヘキニ付此ノ場

合ニ於テハ便宜使用場所ノ記載ヲ省略セシムルコトトシ左記ノ如ク專賣支局長ニ通牒シタリ

專賣局^{販賣}收納部^{部長}通牒丁第四二五八號（明治四十三年十二月二日）

輸出、移出及魚類鹽藏用以外ノ特別用途鹽ヲ鹽元賣捌人ニ賣渡ス結果トシテ其ノ鹽ノ使用場所不明ノ場合モアルヘク此場合ニ於テハ賣渡請求書ニ便宜使用場所ノ記載ヲ省略セシメ差支無之又其ノ使用場所大體ニテモ明瞭セルモノハ一郡又ハ一町村内ヲ使用場所トシ便宜記載セシメラレ然ルヘシ尤モ右ニ付テハ當該元賣捌人又ハ小賣人ヲシテ事實使用者ニ直接販賣セシムル様注意スヘキハ勿論其賣渡月日、數量、價格及賣渡先等ヲ記載セシメ時々臨檢シ時宜ニ依リ其ノ賣渡先ヲ調査スル等監視上遺憾ナキ様注意相成度

從來鹽元賣捌人カ直接消費者ニ特別定價鹽ヲ賣渡ス場合ハ普通消費費用鹽ト同シク一回千斤以上ニ限ルコトニ取扱ヒタルモ右ハ消費者カ直接ニ政府ヨリ買受クル場合其ノ數量ニ制限ナキニ比シ窮窟ニシテ取扱上權衡ヲ失スルモノト認メ局議ヲ變更シ元賣捌人ヨリ直接消費者ニ賣渡ス場合ニモ其ノ數量ニ制限ナク即チ鹽賣捌規則第一條第三項ノ適用ナキモノト解スルコトトシ明治四十三年十二月名古屋支局長ニ回示シタリ

鯖鱒鯛鱸鰈飛魚蝦等鹽藏用鹽ニ對スル特別定價賣渡ノ特典附與方ニ關シテ明治四十二年十一月以降更ニ請願又ハ建議アリタルモ元來右特典ヲ與フル所以ノモノハ遠洋漁業又ハ外國沿海漁業中特ニ獎勵ヲ要スヘキ水產物ノ發達ヲ助長スル目的ニ外ナラサルヲ以テ此ノ要件ヲ具備セサル上記漁獲物ニ對シテ特典ヲ與フルハ不可ナルノミナラス假ニ此ノ種ノ漁獲物ニ特典ヲ與フルコトトセハ其ノ範圍擴張シ殆ト際限ナカルヘク結局專賣益金ニ非常ナル減少ヲ來スヘキヲ以テ總テ其ノ願意ヲ聽許セサルコトトセリ

漁業用輸出鹽ノ特別定價ハ賠償原價ナルカ爲昨年七月内地鹽賠償價格ノ引上ニ伴ヒ其ノ價格モ亦引上クルコトトナリタルヲ以テ斯業ノ發展ヲ阻害スルコト尠カラストナシ大正二年三月露領水產組合ヨリ賣渡價格輕減方請願アリシモ輸出鹽ニ付テハ現在原價ヲ以テ賣渡シ居リ更ニ其ノ價格ヲ輕減スルノ餘地ナキモノナルヲ以テ其ノ願意ヲ聽許セサルコトトシタリ

輸移出用、漁獲物鹽藏用以外ノ特別定價鹽ハ從來鹽元賣捌人又ハ直接消費者ニ限り之ヲ賣渡スコ

トトシ小賣人ニハ賣渡ササリシモ斯クテハ價格ノ關係ヨリ消費者ハ直接元賣捌人ヨリ賣渡ヲ受ケ其ノ小賣人ヲ經テ賣渡ヲ受クルハ極メテ少數ナルヘク然ルニ元賣捌人ハ小賣人ノ如ク多數ニ配置セラレサルヲ以テ消費者ノ不便尠カラサルヲ慮リ局議ヲ變更シ左記ノ如ク取扱ハシムルコトニ通牒シタリ

專賣局事業部長依命通牒甲第二三〇七號（大正二年十二月十八日）

輸移出用、漁獲物鹽藏用ヲ除キタル特別定價鹽ハ鹽小賣人ニ賣渡シ差支ナシ

△鹽務局長

第四款 移輸入鹽賣渡

臺灣鹽及關東州鹽賣渡

臺灣鹽ハ其ノ移入取扱人ニ一手ニ賣渡スコトトシ移入ノ都度直ニ船内ニ於テ其ノ數量ノ全部ヲ引取ラシメ鹽賣買業者及消費者ニ對シテハ移入取扱人ヨリ轉賣セシムルコトトシタリ而シテ鹽ノ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ鹽ノ等級及數量ハ臺灣總督府專賣局ノ交付シタル鹽賣渡書ニ記載シタルモノニ依リ實量ハ之ヲ計量セサルコトトシタリ

鹽賣渡代金ハ政府ヨリ移入取扱人ニ支拂フヘキ購買金額ト相殺シテ其ノ差額ヲ納付セシムルコトトシタルモ其ノ納付ニ付テハ内地鹽ト同シク賣渡ノ日ヨリ三箇月間ノ延期ヲ許シタリ而シテ賣渡代金ノ延納竝移入及賣渡命令ニ違背シタル場合ニ於ケル損害賠償金ノ納入ヲ確保スル爲擔保トシテ政府カ指定シタル金額ニ對シ豫メ現金又ハ政府ノ確實ト認メタル有價證券ヲ以テ提供セシムルコトトシタリ

凶歉ニ因ル内地鹽及臺灣鹽ノ供給不足ヲ補ハンカ爲明治三十八年度ニ於テ輸入シタル安南鹽清國鹽等ノ賣渡ニ付テハ總テ臺灣鹽ト同一ノ方法ヲ採リタルモ唯賣渡數量ハ輸入取扱人カ政府ニ